

The Japan Observatory at MILANO UNICA 2027 SS ファイナルレポート

第 42 回ミラノ・ユニカ、欧州出展者数 25%増と海外バイヤー来場拡大を背景に、国際見本市として新たな到達点へ

世界有数の高級テキスタイルおよび服飾資材の国際見本市『第 42 回ミラノ・ユニカ』が、2026 年 1 月 20 日（火）から 22 日（木）までの 3 日間にわたり、イタリア・ミラノのフィエラ・ミラノ・ロー（Fiera Milano Rho）にて開催されました。今回は 2027 年春夏シーズン向けのメンズ、レディース、キッズ向け高級素材および服飾資材の最新コレクションが一堂に会し、世界各国から高い注目を集めました。

出展者数は総数 730 社を記録。主要エリアである「Ideabiella」「Moda In」「Shirt Avenue」には計 585 社が出展し、前年 2 月開催時比で +5.2%の増加となりました。とりわけ欧州（イタリア以外）からのテキスタイルメーカーは 137 社にのぼり、+25%という過去最高の伸びを示しました。

また、Special Area ならびに Japan Observatory、Korea Observatory を含むオブザーバトリー出展者は 129 社、出版社は 16 社が参加。出展社数の拡大に加え、展示面積も拡張され、総展示面積は 25,803 m²に達しました。

来場者動向においても、国際性のさらなる進展が見られました。国別ではフランス（前年比+8.5%）および米国（同 +13.5%）が来場バイヤー数で最も多い国となり、続いて韓国（+10%）、ドイツ（+8%）、カナダ（+6.6%）、日本（+2.4%）など、幅広い国・地域からの来場が増加しました。一方、英国およびスペインは、2025 年 2 月開催時と同様に高い来場実績を維持しました。



第42回ミラノ・ユニカを総括し、シモーネ・カンクリーニ 会長は次のように述べました。

「直近2回の開催を通じて、ミラノ・ユニカはこれまでで最も高い成果を上げることができました。本展示会は現在、高級テキスタイルおよび服飾資材分野における国際的リーダーとしての地位を着実に確立しています。ゼネラルマネージャーのマッシモ・モジエッロ氏とそのチームの的確な統率のもと、主催者、出展者、関係機関が一体となって取り組む体制が整い、その成果が今回の結果に結実しました。

今後に向けては、若い世代の参画をさらに促進し、これまで世界的な成功を支えてきた技術や技能を、確実に次世代へと継承していくことが重要です。同時に、生地や服飾資材の価値を、より多く、よりの確に最終消費者へ伝えていく必要があると考えています。テキスタイルは衣服の成功に不可欠な要素であり、私たちは“美”を生み出す生産者として、引き続き業界を牽引していきたいと考えています。

また、ミラノ・ユニカではサステナビリティを重要な責務と位置付け、「気候危機へのアクション」「化学薬品の安全性」「生物多様性保全」「循環型経済」「社会正義」という5つの柱を軸に、具体的な取り組みを継続しています。これらの価値を明確に可視化し、素材を通じて発信していくことは、国際見本市としての信頼性を高めると同時に、次世代のものづくりを支える基盤になると確信しています。」



《2027SS クリエイティブディレクション総括》

『第42回ミラノ・ユニカ』では、2027年春夏シーズンに向けたクリエイティブディレクションとして、“MU COSMETIC”を軸とするトレンドビジョンが提示されました。本ディレクションは、テキスタイルを単なる衣服素材として捉えるのではなく、身体に寄り添い、感覚や体験に作用する存在として再定義する試みであり、来場者から高い関心を集めました。

“MU COSMETIC”は、テキスタイルとコスメティクスの世界観を重ね合わせ、肌との関係性、快適性、美しさ、官能性といった要素を総合的に表現するコンセプトです。素材は視覚的な表情だけでなく、触感や軽やかさ、通気性といった着用感覚に訴えかける要素が重視され、衣服を通じた新たな価値提案が示されました。



展示全体を通しては、透明感のある素材、滑らかな表面感、繊細な光沢、やわらかな色彩表現などが印象的で、“身にまとうことで完成する素材”という考え方が随所に反映されていました。こうした方向性は、細やかな加工技術や高い品質管理を強みとする日本のテキスタイル産地にとっても、親和性の高いテーマであると言えます。また、本ディレクションはサステナビリティの視点とも密接に結び付いており、環境配慮型素材や長く使われることを前提とした品質設計など、素材の本質的価値を高める取り組みが見られました。

2027SSに向けた今回のクリエイティブディレクションは、ファッション産業が今後さらに重視していくであろうフィジカル面・感性・持続可能性を横断的に捉えた内容となっており、日本の素材メーカーにとっても、新たな企画開発や提案力強化につながる多くの示唆を与えるものとなりました。



The Japan Observatory (JOB)

「日本の繊細な技術力と美意識に対する高い評価」は今会期においても健在であり、日本素材への信頼と、輸出ビジネスおよびミラノ・ユニカ（MU）への期待の高さを改めて実感する展示会となった。

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）および日本貿易振興機構（JETRO）主催による「The Japan Observatory (JOB)」が出展し、今会期は Moda In が展開される Hall 12 内に配置されました。会場では、日本企業ならではの高い素材提案力と技術的完成度が際立ち、サステナブル素材や高機能合繊、天然繊維をベースとした高付加価値素材、環境配慮型の服飾資材など、多様な切り口からの提案が行われました。とりわけ、肌触りや軽さ、繊細な表面感といった要素は、2027SS のクリエイティブディレクション「MU COSMETIC」の文脈とも親和性が高く、素材と身体の関係性を重視する来場者の関心を集めました。

出展規模は、参加企業数 53 社（JOB Next 含む）、総展開面積 828 m²と、SS 展として過去最大規模を記録。なかでも、超円安環境下で輸出に注力する中小企業の出展が目立ち、JETRO が支援する JOB Next には今会期も 10 社が参加しました。

トレンド&インデックス機能を備えた展示構成も有効に機能し、MU トレンドおよびサステナブル関連エリアとの回遊性により、多くのバイヤーが実際に素材に触れながら、時間をかけて情報収集を行う様子が見受けられました。JOB エリアは、単なる出展ブースの集合にとどまらず、日本のものづくりの思想や品質基準を体感的に伝える場として位置付けられました。



来場者からは、「日本の素材は完成度が高く、安心してビジネスにつなげられる」「繊細さと機能性のバランスが優れている」といった声が聞かれ、日本素材に対する信頼感の高さが改めて示された。JETRO の支援を通じて、メゾンブランドや欧米バイヤーが複数回にわたり JOB エリアを訪問する姿も見られ、日本企業の独自性や提案力に対する関心の高さがうかがえました。

また、Japan Observatory では素材展示に加え、Japan craftsmanship をバーチャルリアリティで体感・見学できる「産地フォーカス」VR 疑似体験コーナーを設置。日本の産地における生産背景や技術、職人の哲学を紹介する情報発信の場として、完成品だけでは伝わりにくい日本素材の価値を体感的に伝える試みとして注目を集めました。素材の完成度のみならず、その背後にある工程や技術の積み重ね、作り手が素材に向き合う姿勢を丁寧に伝える構成は、海外バイヤーにとって日本のものづくりを理解する重要な手がかりとなりました。

会期中は 134 名が VR コンテンツを体験し、「日本のものづくりに対する姿勢が素晴らしい」「職人のインタビューに温かみを感じた」といった高い評価が寄せられました。あわせて、VR コーナーに隣接する尾州産地のブースを訪れるバイヤーも多く、展示全体の相乗効果が見られました。



今回の Japan Observatory 出展は、日本の技術力、素材開発力、そして一貫した品質への姿勢が、グローバル市場において確かな存在感を示した機会となりました。今後、本展で得られた反響やネットワークが、具体的な商談および継続的なビジネス成果へと結び付いていくことが期待されます。

一方、「モーダ・イン」にアウトサイド JOB として出展した 4 社（デビス株式会社、小松マテーレ株式会社、スタイレム瀧定大阪株式会社、株式会社ソアロン）は、欧州での新規顧客開拓を視野に着実な成果を上げており、次回に向けたブース演出や営業戦略の強化にも既に着手しています。

なお、JOB エリア外への出展には、ミラノ・ユニカ事務局による審査の通過が必須であり、申込可能な最低面積は 72 m² 以上と定められています。



《JOB 懇親会》

展示会前夜の1月19日には、JOB 懇親会がミラノ restaurant and pizzeria "OBICA"にて開催され、Japan Observatory 出展者および関係者160名が参加しました。本懇親会は、出展者間の交流および情報交換を促進する場として機能し、日本企業の連携強化や今後の海外展開に向けた重要な機会となりました。



《展示会概要》

■第42回 Milano Unica

- 開催期間：2026年1月20日（火）～22日（木）
- 会場：Rho Fieramilano (Hall 8, 12, 16, 20)
- 主催：Milano Unica Secretariat

■第24回 The Japan Observatory at Milano Unica 2027S/S

- 会場：Rho Fieramilano（ロー・フィエラミラノ）
- 出展者数：53社（企業の重複を除いた実数）

東レ(株)は2部署、小松マテール(株)は団体出展に加え Outside エリアにも単独出展。

エントリー社数 JOB：41社、JOB NEXT10社、Outside JOB：4社

□ JOB 展開面積：合計 828 ㎡ JOB：666 ㎡ / JOB NEXT：90 ㎡ /
トレンド&インデックスコーナー：72 ㎡

□ Outside JOB 展開面積：288 ㎡

□ 日本の総展開規模：1,116 ㎡

□ 主催：一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構
独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO)

□ 後援：経済産業省、日本繊維産業連盟

JOB 出展者リスト ★新規出展

(株)エイガールズ/(株)サンウェル/(株)ジャパンプルー/(株)チクマ/(株)ドゥミルサンク/(株)ベルテックス/(株)ムツミテキスタイル/(株)丸進/(株)大長/(株)東紀繊維/(株)麻絲商会/NISHIJIN TEXTILES★/

TANGO OPEN/カジレーネ(株)/カネマサ莫大小(株)/ササキセルム(株)/サンコロナ小田(株)/スパイバー(株)/タキヒヨー(株)/フジサキテキスタイル(株)/ミナミ(株)/宇仁繊維(株)/栄レース(株)/丸井織物(株)

京セラドキュメントソリューションズ(株)/桑村繊維(株)/御幸毛織(株)/恒川織物(株)★/篠原テキスタイル(株)/小原屋繊維(株)/小松マテーレ(株)/双日ファッション(株)/瀧定名古屋(株)/中国紡織(株)★

中伝毛織(株)/東レ(株) ウルトラスエード事業部/東レ(株) 婦人・紳士衣料事業部/東レインターナショナル(株)/福井経編興業(株)/北高(株)/明林繊維(株)

The JOB Next by JETRO at Milano Unica 2027SS ★新規

(株)シャンプレー/(株)今正ファブリック/(株)植山テキスタイル/Curelabo(株)/コスモテキスタイル(株)/ユメテックス(株)/三政テキスタイル(株)- MAYFIS/成和第一産業(株)★/日本蚕毛染色(株)/豊田絲業(株)★

Outside The JOB at Milano Unica 2027SS ★新規

デビス(株)/小松マテーレ(株)/スタイレム瀧定大阪(株)/(株)ソアロン★

《JOB に来場した主な著名バイヤー》 (前回 2026.1 展実績より)

A KIND OF GUISE / antonio marras / Aspesi / BALENCIAGA / BONOBOS / BOTTEGA VENETA / Burberry / Calvin Klein / CANADA GOOSE / CECILIE / BAHNSEN / CELINE / CERRUTI / Chanel / DIESEL / Dior / DOLCE & GABBANA / Drake's / EMPORIO ARMANI / FERRAGAMO / GAP / Giorgio Armani / GUCCI / GUESS / HERMES / Herno / HUGO BOSS / HUNTSMAN / H&M / ICICLE / ISABEL MARANT / J.CREW / JOSEPH / JW ANDERSON / LANVIN / Louis Vuitton / Maison Martin Margiela / Margaret Howell / MARNI/MAX MARA S.r.l. / Michael Kors / Mr Smith / Noah NYC / on / Paul Smith / rag & bone / Ralph Lauren / SAINT LAURENT / supreme / The Row / Theory / TOD'S / TOM FORD / TOMMY HILFIGER / Tory Burch / Universal Works / Vivienne Westwood / Zara

JFW 撮影記録写真





次回の The Japan Observatory (JOB) は、Milano Unica 2027 Autumn / Winter にあたる 2026 年 7 月 7 日 (火) から 9 日 (木) までの会期で開催されることが正式に発表された。今回は今会期とは異なり、1 階フロアを使用し、ホール 1・3・5・7 での展開が予定されています。

会場は引き続き、イタリア・ミラノのフィエラ・ミラノ・ロー (Fiera Milano Rho) にて開催され、欧州を中心としたラグジュアリーブランドおよびハイエンドバイヤーとの商談機会を提供する場として、JOB の存在感は今後さらに高まることが期待されます。

なお、出展に関する詳細および申込条件については、一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFWO) および日本貿易振興機構 (JETRO) より、順次案内される予定です。

プレスリリースに関するお問い合わせ先：
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFWO)
テキスタイル事業事務局
mu@japancreation.com
<https://www.jfwtextile.com>